2018年3月1日発売
新刊委託（常時返品可）

戦争戯曲集 三部作

The War Plays
by Edward Bond

エドワード・ボンド／作
近藤弘幸／訳
佐藤信／演出・エッセイ
ダヴィッド・テュアイヨン／解説

現代英国を代表する劇作家 エドワード・ボンドの三部作 待望の完訳！

E・ボンドの戯曲は絶望的に恐ろしく悲しい。それが我々の世界そのものだからだ。そのことを自覚してもなお、我々が希望を見いだすのは容易ではない。けれど、彼の大きな手が我々の背中を叩くのを確かに感じる。串田和美

帯推薦文／串田和美

本体価格2400円＋税
A5判並製312ページ
ISBN978-4-87177-345-4

「戦争戯曲集 三部作」は、母の体内で被曝した胎児の「生きることのなかった生涯」、無限に残された缶詰と生き残った人々の社会に生じる死の恐怖、不毛の砂漠を彷徨う女の姿に映し出される人間性の根本への問いかけ、核戦争後の世界を舞台とする3つの作品で構成されている。
排外主義のうねりが高まり、世界を分断と憎悪が包み込もうとする今。イギリスの労働者階級に生まれ、社会の様々な問いに対してけっして目を背けることのないボンドの作品は、圧倒的なアクチュアリティをもって、我々に訴えかけてくる。（演出／佐藤信）

版元から
エドワード・ボンドはイギリスではハロルド・ピンターと並び称され、サラ・ケインに強い影響を与えた劇作家ですが、日本ではあまり知られていませんでした。労働者階級出身の反骨の作家であり、尊敬もされるが敬遠もされるという、独特のスタンスによるものかもしれません。しかしその作品は、フランスで高い評価を受け、公演を観た佐藤信氏によって日本に持ち込まれ、座・高円寺において、8年間にわたって上演が続けられています。80歳を超えてなお現役の作家であり、本書発刊を機として、国内の演劇界でも、これからの評価が生まれることを願っています。

発行／発売：あっぷる出版社
〒101-0064　東京都千代田区猿楽町2-5-2
tel.03-3294-3780
fax.03-3294-3784
取次：ト・ニ・Oak・中・協・鍬・JRC・東官書
新刊委託（委託期限後も常時返品可）

エドワード・ボンド
1936年ロンドン生まれ。労働者階級の子として育ち、貧しい幼少期を送る。工場労務者、ペンキ屋、保険会社の事務員などの様々な職業に就きながら劇作を行い、1962年ロイヤル・コート劇場で上演した『法王の婚礼』（e Pope's Wedding）により鮮烈なデビューを飾る。その後発表した『救われて』（Saved, 1965）、Early Morning(1968）によって、イギリス演劇界の検閲制度が廃止に至るなど、常に社会構造のゆがみや不合理な暴力を衝撃的に描き、ハロルド・ピンターなどと並んでイギリス演劇を代表する劇作家の一人となる。近年では、劇団ビッグ・ブラムで青少年向けの作品創作を行うなど活動を広げている。

近藤弘幸
英文学者。東京学芸大学教育学部教授。著書に、『今を生きるシェイクスピア―アダプテーションと文化理解からの入門』『シェイクスピアと演劇文化―日本シェイクスピア協会創立五〇周年記念論集』（共著、研究社）。翻訳に、マイケル・ボグダノフ『シェイクスピア　ディレクターズ・カット―演出家の斬る劇世界』（研究社）など。ウィリアム・シェイクスピア『リア王の悲劇』（世田谷パブリックシアター）、アラン・エイクボーン『スリッパ、誰の？』（水戸芸術館）などの上演台本を手がけている。

あっぷる出版新刊注文書	番線・貴店名	冊	戦争戯曲集 三部作　エドワード・ボンド／作　近藤弘幸／翻訳 定価：本体2400円＋税 ISBN978-4-87177-345-4　C0074